

# 令和5年度 神吉中学校 学校評価(自己評価)シート

A できている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

重点目標	評価項目	評価	総合評価	アンケート関連項目の主な集計結果	改善の方策
心の教育の充実	いのちや心を大切にすることの推進	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒問18「優しい声かけや協力手助け等他の人のためになることをしようとしている」の肯定的回答が93.3%と高くなっている。</li> <li>生徒問19「自分の周りでいじめや暴力がないようにしている」の肯定的回答が96%となっていることを踏まえ、継続的にいじめ防止対策を推進していく必要がある。</li> <li>生徒問20「自分の意見が言いやすい雰囲気になっている」の肯定的回答が84.7%となっている。</li> <li>生徒問21「クラスの友だちと仲良くしている」の肯定的回答が97.6%と高くなっている。</li> <li>生徒問22「わがままな言動に注意し相手の気持ちを考えて人と接するようにしている」の肯定的回答が94.4%と高くなっている。</li> <li>生徒問24「周囲に間違った言動がある時は注意したり先生に報告したりするようにしている」の肯定的回答が76%となっている。</li> <li>生徒問25「自分以外の人が困っている時は助けようとしている」の肯定的回答が95.1%と高くなっている。</li> <li>保護者問11「お子さんはいじめを許さない気持ちを持っていますか」の肯定的回答が97.9%と高くなっているが、全ての生徒がいじめを許さない気持ちを持って教育活動をすすめていく。</li> <li>保護者問12「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいますか」の肯定的回答が86.9%となっており、さらなる改善をすすめていく。</li> <li>保護者問13「お子さんは友だちの悪口や陰口を言わないほうですか」の肯定的回答が94.8%となっている。</li> <li>教職員問18「道徳教育・人権教育の充実を図る等のことを大切にしている教育の推進に努めましたか」の肯定的回答が97.6%となっており、さらなる充実を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いのちについて考える日」や「1.17集会」などを継続的に実施し、いのちや心の大切さについて生徒が主体的に考える機会を充実させる。</li> <li>教育相談等の充実により、いじめを未然に防止するとともに「学校生活に関するアンケート(アセス)」や「心の相談アンケート」を活用していじめを積極的に認知し、早期発見・早期対応につなげる。</li> </ul>
	感性に訴える人権教育の推進	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>今日的な人権課題を取り上げた教職員研修を実施し、教職員の指導力の向上及び人権意識の高揚を図る。</li> <li>多様な価値観や今日的な人権課題の理解促進に向けた指導方法の工夫・改善を行う。</li> </ul>
	考え議論する道徳教育の推進	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が物事を多面的・多角的に捉え自分自身のこととして考え、他者や自己との対話により生き方についての考えを深めることができるよう、授業を研究する。</li> <li>豊かな人間性を育てることで、自分を大切にするとともに、互いを思いやり、他者を尊重する心を育むための指導方法を工夫する。</li> </ul>
	互いに認め合い、支え合い、高め合う学級づくり	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動を充実させ、生徒が自分たちの力で学校を良くしていくという意識を育む。</li> <li>生徒同士が互いに協力して取り組む場面を意図的に設定し、互いに認め合い、支え合い、高め合う集団づくりをめざしていく。</li> </ul>
	多面的な生徒理解を基盤とした教育の推進	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の生徒に丁寧に寄り添う指導と信頼関係の確立に努める。</li> <li>教育相談等の充実により、相談しやすい環境づくりや、生徒の内面理解に努める。</li> <li>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、メンタルサポーター、生徒指導相談員等の専門スタッフと連携した教育活動を推進する。</li> </ul>
未来を切り拓く力の育成	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒問3「宿題や予習復習を行うなど家庭学習を大切にしている」の肯定的回答が71.6%と低くしており、家庭学習の充実が課題である。</li> <li>生徒問7「授業中、先生の話や人の発表を集中して聞くことができる」の肯定的回答が92.1%となっており、前向きな学習が概ねできている。</li> <li>生徒問8「学習内容のわからないことは自分で調べたり先生や友人に聞いたりしている」の肯定的回答が81.5%となっており、さらに、主体的な学習ができる生徒の育成をめざしていく必要がある。</li> <li>生徒問9「授業を通して興味関心を持ったことがある」の肯定的回答が80.2%となっており、引き続き生徒の興味・関心を引き出す授業づくりに努めていく必要がある。</li> <li>生徒問11「楽しくわかりやすい教科や授業がある」の肯定的回答が91.6%と高くなっている。</li> <li>生徒問14「自分の考えを話したり行動に移したりするようにしている」の肯定的回答が82.9%となっており、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、引き続き授業改善に努めていく必要がある。</li> <li>生徒問30「自分の将来や進路について考えている」の肯定的回答が76.6%となっていることを踏まえ、キャリア教育の充実を努めていく必要がある。</li> <li>保護者問15「お子さんは自分の進路や将来のことについて考えていますか」の肯定的回答が37.7%となっていることを踏まえ、将来を見据え、夢や希望を持って努力する生徒の育成に努めていく。</li> <li>教職員問14「学習用端末(Chromebook)を活用した授業を実践しましたか」の肯定的回答が69%となっており、さらなる授業改善をすすめていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習用端末(Chromebook)を効果的に活用して協働学習を取り入れ、生徒が主体的に学ぶ授業づくりに取り組む。</li> <li>「協同的探究学習」の実践等により、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。</li> </ul>
	ICTを活用した情報活用能力の育成及び情報モラル教育の推進	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習用端末の活用に関する教職員研修を継続的に実施し、授業における大型モニターや学習用端末の効果的な活用をさらに推進していく。</li> <li>「情報モラル教室(SNS講習会)」を継続して実施し、ネットの危険性等について生徒や保護者に啓発していく。</li> </ul>
	「生きる力」を育む体験活動の充実	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生「トライやる・ウィーク」を通して、地域や各事業所の方々からの指導を受けることで、感謝の心や達成感、自己有用感を高める。</li> <li>1年生「わくわくオーケストラ教室」で管弦楽団の生演奏に触れ、感性を磨く機会とする。</li> </ul>
	将来の目標に向けて努力する態度の醸成	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動や学校行事、体験活動等を通して、社会の一員としての自覚や社会参画への意欲を養う。</li> <li>進路指導等を通じて、自分の適正や興味、関心について考えさせ、将来の目標を持って学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>
生徒一人一人のよさや可能性を引き出す教育の推進	生徒の「自己有用感」や「達成感」の醸成	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒問12「相談できる先生がいる」の肯定的回答が78.4%となっており、引き続き、生徒が相談しやすい環境づくりに努めていく必要がある。</li> <li>生徒問13「学校生活は楽しい」の肯定的回答が93.6%と高くなっている。</li> <li>生徒問26「感動した学校行事があった」の肯定的回答が76%、生徒問27「学校行事の取り組みでは自分の力を発揮した」の肯定的回答が85.5%となっており、学校行事をさらに充実させていく必要がある。</li> <li>生徒問28「生徒会活動では生徒会の一員として協力している」の肯定的回答が83.3%となっており、引き続き、生徒の主体的な活動を充実させていく必要がある。</li> <li>保護者問17「学校行事は生徒が主体となった感動のあるものになっていますか」の肯定的回答が83.2%となっており、さらなる充実を努めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事等において達成可能な目標を設定し、それを着実に達成させることにより成功体験を積み重ねさせる。</li> <li>あらゆる教育活動の場面で、教職員が生徒を認め励ますなど、自己肯定感や自己有用感の醸成につながるような声掛けを意識する。</li> </ul>
	きめ細やかな教育活動の実践	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>「兵庫型学習システム」による少人数授業を通して、きめ細やかな指導を充実させ、基礎学力の定着を図る。</li> </ul>
教育活動のユニバーサルデザイン化の推進	個に応じた指導、支援の充実	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員問15「インクルーシブの視点を取り入れた授業を計画的・継続的に進めましたか」の肯定的回答が78.6%となっており、さらなる改善をすすめていく必要がある。</li> <li>教職員問17「不登校生徒に対する積極的な理解と支援に努めましたか」の肯定的回答が95.3%となっており、引き続き、関係機関との連携やさらなる支援の充実を努めていく必要がある。</li> <li>保護者問18「学校は施設や設備が充実し、きれいで落ち着いた環境になっていますか」の肯定的回答が72.2%となっており、さらなる環境整備が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別な配慮や支援を必要とする生徒に対して、教職員や専門スタッフ、関係機関と連携するなど、「チーム学校」として組織的に対応する。</li> <li>特別支援コーディネーターが中心となって、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図る。</li> </ul>
	教室環境、学習環境の整備	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎内の破損や危険箇所があれば市教育委員会と連携しながら早急に対応する。</li> <li>生徒会活動や清掃活動等を通して、生徒が環境美化に主体的に取り組むことができるようにする。</li> <li>相談室や、市教育委員会のわかば教室、サテライト教室など、多様な学びの場を積極的に活用していく。</li> </ul>
	生徒の活動等の工夫、改善	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>「個別の指導計画」や「個別的教育支援計画」をもとに、共通理解と教職員研修を充実させる。</li> </ul>
保護者や地域と連携した	開かれた教育活動の推進	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者問8「学校の様子はお子さんを通してよくわかりますか」の肯定的回答が69.3%となっている。</li> <li>保護者問14「お子さんのことで気軽に先生に相談できますか」の肯定的回答が78.8%となっていることを踏まえ、保護者との連携をさらに充実させていく必要がある。</li> <li>保護者問16「お子さんは地域の行事に積極的に参加していますか」の肯定的回答が46.4%となっていることを踏まえ、地域の伝統文化の継承等に寄与できるよう、地域と連携していく必要がある。</li> <li>保護者問20「学校は学校のホームページや配布文書等で学校の様子をわかりやすく伝えてありますか」の肯定的回答が79.1%となっていることを踏まえ、さらなる改善に努めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のホームページ等により、今後も引き続き、学校の取組や生徒の活動の様子などを保護者や地域に発信していく。また、スクリーンや3メールについても、さらなる有効活用をめざしていく。</li> <li>学校行事や授業参観、オープンスクールなどにより、学校の教育活動を保護者に公開する機会を充実させる。</li> </ul>
	地域との連携、協働	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会委員から学校運営等に関するご意見をいただきながら、教育活動の改善につなげていく。</li> <li>「創立50周年記念事業実行委員会」や「制服検討委員会」などを通じて、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。</li> </ul>
	よりよい教育活動の実践に向けた協力体制の確立	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>個別懇談会等を通して、教職員と保護者が互いに連携しながら生徒の健全育成に努める。</li> </ul>